

【取組内容③】 授業と連続した家庭学習の工夫

第3学年 国語科「サーカスのライオン」

授業で学習した場面を音読の課題として、出題した。いつもは、紙の音読記録用紙に保護者のサインをもらう形式で実施していたが、持ち帰りの実施にあわせて、学習支援ソフトの動画撮影機能を使って提出させた。

児童は、これまでも多くの授業で、動画撮影を経験しているため、特に問題なく課題を提出することができた。動画撮影することで、音読の記録がポートフォリオとして集積されるため、児童は自分の成長をタブレット上で確認することができた。この取組は、だんだんと上達していく姿を自宅で確認することができるため、保護者からの評価も高かった。

また、同様の実践がTeamsの課題配信でもできるので、現在は、Teamsの活用も考えている。クラウド上に児童の記録が自然に集積され、それが児童の伸びを見取るポートフォリオとして活用できるため、こうした活用事例を増やしていければと考えている。

